2020年度 事業報告書

自 2020年4月1日至 2021年3月31日

当財団は、「産業、経済、文化の発展に貢献する科学技術、芸術等を中心とする分野で著しい貢献をした者の顕彰、研究または普及啓発に対する助成等を通じてその促進を図ると共に国際相互理解の増進に努め、もって社会の啓発に貢献し、人類の平和と繁栄に寄与する。」ことを目的として、1984年4月12日に設立された。

1985年に第1回京都賞授賞式、第1回研究助成金贈呈式を開催し、事業を開始した。また、2011年4月1日に公益財団法人の認定を受け、新公益法人制度に基づいた運営を開始した。2020年度は、新型コロナウイルス感染症の世界的な蔓延により、当財団の事業活動に様々な制約があった。このような状況下、同感染症に対する新たな取組みとして、文化芸術活動に対する緊急経済支援を実施した。

2020年度主要事業の活動概要を次のとおり報告する。

I. 顕彰事業

1. 第35回(2019)京都賞に関する事項

(1) 英国オックスフォード大学主催「Kyoto Prize at Oxford」の開催支援

第 35 回(2019)京都賞受賞者を迎えて英国オックスフォード大学が主催する「Kyoto Prize at Oxford」の開催に向け、その企画準備を支援した。尚、2020 年 5 月に開催予定であった同イベントは、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、延期された。

(2) 米国サンディエゴにおける「京都賞シンポジウム」の開催支援及び寄附

① 「京都賞シンポジウム」の開催支援

2021年3月23日から25日の3日間、新型コロナウイルス感染症の影響による約1年間の延期期間を経て、第35回(2019)京都賞受賞者を迎えて米国サンディエゴにて開催された「第19回(2021)京都賞シンポジウム」を支援した。尚、同シンポジウムは、収録映像を組み合わせながら、ライブ映像をリアルタイムにオンライン上で公開する手法をもって開催された。

② 「京都賞シンポジウム」への寄附

2019年に再調印した「京都賞シンポジウム覚書」に基づき、主催の京都賞シンポジウム組織及び共催大学(カリフォルニア大学サンディエゴ校、ポイント・ロマ・ナザレン大学)に対して第2回目35万ドルの寄附を実施した。(2019年から2022年までの4年

2. 第36回(2020)京都賞に関する事項

(1) 2020 年度における第36回京都賞受賞者決定の延期

2020年度における第36回京都賞受賞者の決定について、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、次年度へ延期した。

3. 第36回(2021)京都賞に関する事項

(1) 京都賞審査機関による審査

国内、海外の有識者より推薦された候補者について、2019年度に開催された各部門専門委員会及び審査委員会の結果に基づき、2021年2月6日、京都賞委員会を開催し、受賞候補者の審査を行った。

Ⅱ. 研究助成事業

1. 稲盛研究助成

(1) 2020 年度稲盛研究助成に関する事項

① 2020 年度稲盛研究助成金の贈呈

2020年3月17日の定時理事会において承認された50件に対し、総額5,000万円の贈呈を行った。尚、2020年4月に開催予定であった2020年度稲盛研究助成金贈呈式及び盛和スカラーズソサエティ交流会は、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し中止とした。

※ 附属明細 1「2020年度稲盛研究助成対象者並びに研究題目」を参照

(2) 2021 年度稲盛研究助成に関する事項

① 応募受付の開始 2020年5月21日、2021年度稲盛研究助成の申請書の受付を開始した。

② 応募の締切

2020年7月20日をもって申請書の受付を締め切り、98大学6機関より441件の応募を得た。この応募分について、各委員による予備選考を行った。

③ 稲盛研究助成選考委員会による選考

2020年12月4日と12月5日に稲盛研究助成選考委員会を開催し、50件5,000万円の助成対象者の選考を行った。

④ 稲盛研究助成対象者の決定と発表

2021年3月12日、定時理事会において、2021年度稲盛研究助成対象者及び助成金額を 決定し、プレス発表を行った。

※ 附属明細 2「2021年度稲盛研究助成対象者並びに研究題目」を参照

⑤ 稲盛研究助成選考委員の公表

助成対象者の発表に併せて、2021年度稲盛研究助成選考委員を下記の通り公表した。

[2021年度稲盛研究助成選考委員]

村上 正紀(委員長) 立命館大学 理事補佐·特別招聘教授

[自然科学系]

審良 静男 大阪大学 免疫学フロンティア研究センター 特任教授

巖佐 庸 関西学院大学 理工学部 教授

上田 正仁 東京大学 大学院理学系研究科 教授

岡田 清孝 龍谷大学 RECフェロー

影山 龍一郎 京都大学 ウイルス・再生医科学研究所 教授

片岡 一則 (公財)川崎市産業振興財団

副理事長・ナノ医療イノベーションセンター長

君塚 信夫 九州大学 大学院工学研究院 主幹教授

佐々木 節 東京大学 国際高等研究所 カブリ数物連携宇宙研究機構 副機構長

坪井 俊 武蔵野大学 工学部 特任教授

西田 栄介 理化学研究所 生命機能科学研究センター センター長

野田 進 京都大学 大学院工学研究科 教授

安浦 寬人 九州大学 名誉教授

柳田 素子 京都大学 大学院医学研究科 教授

山田 容子 奈良先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科 教授

[人文・社会科学系]

井野瀬 久美惠 甲南大学 文学部 教授

玄田 有史 東京大学 社会科学研究所 教授

山室 信一 京都大学 名誉教授

鷲田 清一 大阪大学 名誉教授

渡辺 千原 立命館大学 法学部 教授

(肩書は2020年12月1日現在)

(3) 2022 年度稲盛研究助成に関する事項

① 稲盛研究助成選考委員の決定 2021年3月12日、定時理事会において、2022年度稲盛研究助成選考委員を選任した。

2. 稲盛科学研究機構(InaRIS)フェローシップ

(1) 2020 年度 稲盛科学研究機構(InaRIS)フェローシップに関する事項

① 2020 年度 InaRIS フェロー称号の授与及び助成金の贈呈 2020 年 3 月 17 日の定時理事会において承認された 2 名に対し、InaRIS フェローの称号を授与し、各 1,000 万円、総額 2,000 万円の贈呈を行った。(InaRIS フェローに対する助成金は、1 年あたり 1,000 万円を 10 年間(合計 1 億円)とする。)尚、2020 年 4 月に開催予定であった 2020 年度 InaRIS フェロー称号授与式は、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し中止とし、2020 年 10 月 26 日に開催したアドバイザリー・ボード・ミーティングにおいて認定証を授与した。

② InaRIS 運営委員会の開催

2020年8月28日と2021年1月14日に、2020年度InaRIS運営委員会を開催した。

[2020 年度 InaRIS 運営委員]

中西 重忠 (機構長) 京都大学 名誉教授

岡田 清孝 龍谷大学 REC フェロー

小林 誠 高エネルギー加速器研究機構 特別栄誉教授

榊 裕之 学校法人トヨタ学園 常務理事

西尾 章治郎 大阪大学 総長

森 重文 京都大学 高等研究院 院長・特別教授

山中 伸弥 京都大学 iPS 細胞研究所 所長・教授

(肩書は2020年4月1日現在)

③ アドバイザリー・ボード・ミーティングの開催 2020年10月26日に、2020年度アドバイザリー・ボード・ミーティングを開催した。

(2) 2021 年度 稲盛科学研究機構(InaRIS)フェローシップに関する事項

① 応募受付の開始

2020年5月21日、対象領域を「生命:生物の「しなやかさ」と「したたかさ」」とす

る 2021 年度 InaRIS フェローシップの申請書の受付を開始した。

② 応募の締切

2020年7月31日をもって申請書の受付を締め切り、41の大学及び研究機関より、66件の応募を得た。

③ InaRIS フェロー選考委員会による選考

2020 年 12 月 12 日と 2021 年 2 月 14 日に InaRIS 選考委員会を開催し、InaRIS フェロー候補者の選考を行った。

④ InaRIS フェローの決定

2021年3月12日、定時理事会において、2021年度 InaRIS フェローを決定し、3月19日にプレス発表を行った。

※ 附属明細 3「2021 年度 稲盛科学研究機構(InaRIS)フェロー」を参照

⑤ InaRIS フェロー選考委員の公表

InaRIS フェローの発表に併せて、2021 年度 InaRIS フェロー選考委員を下記の通り公表した。

[2021 年度 InaRIS フェロー選考委員]

田中 啓二(委員長) (公財)東京都医学総合研究所 理事長

稲垣 暢也 京都大学 大学院医学研究科 教授

近藤 滋 大阪大学 大学院生命機能研究科 教授

鳥居 啓子 テキサス大学オースティン校 分子生物学部 教授

長谷部 光泰 自然科学研究機構 基礎生物学研究所 教授

柚﨑 通介 慶應義塾大学 医学部 教授 吉村 昭彦 慶應義塾大学 医学部 教授

(肩書は2020年4月1日現在)

⑥ 運営委員の決定

2021年3月12日、定時理事会において、2021年度 InaRIS 運営委員を選任した。

(3) 2022 年度 稲盛科学研究機構(InaRIS)フェローシップに関する事項

① 対象領域の決定

2021年1月14日、運営委員会において、2022年度 InaRIS 対象領域を「「材料・物質」研究の前線開拓」と決定した。

② 対象領域の公表

2021年2月17日、2022年度 InaRIS 対象領域を稲盛財団ウェブサイト上で公表した。

③ InaRIS フェロー選考委員の決定

2021年3月12日、定時理事会において、2022年度 InaRIS フェロー選考委員を選任した。

④ 公募説明会の実施

2021年3月4日、5日の2日間、応募要領についてウェブ会議システムによる説明会を実施した。

Ⅲ 社会啓発事業

1. 大阪大学「中之島キャンパス再開発事業」への寄附

大阪大学創立 90 周年、大阪外国語大学創立 100 周年を迎えての記念事業「中之島キャンパス再開発事業」における「中之島アゴラ構想」の主旨に賛同し、文化・芸術・学術・技術の「四つの知」が交差するグローバルな交流・発信拠点として、同キャンパスに「稲盛ライフデザイン・フロア(仮称)」を開設するため、3 億円の寄附を実施した。

2. 新型コロナウイルス感染症に関する緊急支援「文化芸術支援プログラム」の実施

新型コロナウイルス感染症の影響を受けた文化芸術活動に対する緊急支援として、2020年4月17日の臨時理事会において「文化芸術支援プログラム」を決定し、公益社団法人日本芸能実演家団体協議会の協力のもと、2020年6月、合計74団体に対し総額3億5,000万円の寄附を実施した。尚、本プログラムが芸術に係る活動環境の向上に多大な功労があったものと評価され、令和2年度「京都市芸術振興賞」を当財団が受賞した。※ 附属明細4「稲盛財団文化芸術支援プログラム支援先一覧」を参照

3. 新型コロナウイルス感染症に関する寄附

新型コロナウイルス感染症の影響を受けた、地元京都に根差した文化芸術活動に対する 支援として、公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団(京都市交響楽団)及び特定非 営利活動法人京都フィルハーモニー室内合奏団に対し、各 500 万円の寄附を実施した。 また、全国の多種多様な実演芸術分野を支える活動に対する支援として、公益社団法人 日本芸能実演家団体協議会に対し、100 万円の寄附を実施した。

4. 京都大学「京都大学-稲盛財団合同京都賞シンポジウム」への寄附

京都賞に対する社会の期待と関心を高めるとともに、学術・芸術の振興に寄与し、併せ

て京都大学との協力関係を強化することを目的として、2021年2月16日、京都大学との共催による「京都大学ー稲盛財団合同京都賞シンポジウム」をオンライン形式にて実施した。また、再調印した寄附覚書に基づき、第4回2,000万円の寄附を実施した。(4年間で総額8,000万円を寄附)

5. 京都大学「京都こころ会議 (Kokoro Initiative)」への寄附

京都大学が、同大学こころの未来研究センターを中心に開催する「京都こころ会議 (Kokoro Initiative)」への活動支援として、第6回1,500万円の寄附を実施した。 (6年間で総額9,000万円を寄附)

6. ロームシアター京都「舞台芸術としての伝統芸能」への寄附

ロームシアター京都が、伝統芸能の継承と創造を目指し開催するシリーズ「舞台芸術としての伝統芸能」の主旨に賛同し、特別協賛として、2021 年 1 月 10 日に開催された「Vol. 4 雅楽」に 100 万円の寄附を実施した。また、同じく特別協賛し、新型コロナウイルス感染症の影響により延期となっていた「Vol. 3 人形浄瑠璃 文楽」は、約 1 年間の延期期間を経て、2021 年 2 月 27 日、28 日に開催された。

7. 一般社団法人国際物理オリンピック 2022 協会「第 53 回国際物理オリンピック (IPhO) 2022 日本大会」への寄附

第 53 回目となる国際物理オリンピック(International Physics Olympiad – IPhO)が、東京にて開催されるにあたり、同大会の主旨に賛同し、100万円の寄附を実施した。尚、2022年7月に開催予定としていた同大会は、新型コロナウイルス感染症の影響により1年順延され、2023年7月の開催予定となった。

8. 米国「倫理と叡智のための稲盛国際センター」の活動支援

当財団の寄附により設立された米国オハイオ州のケースウエスタンリザーブ大学「倫理と叡智のための稲盛国際センター」の活動を支援した。尚、2020年9月に開催予定だった 2020年稲盛倫理賞授賞式及び関連行事は新型コロナウイルス感染症の影響により開催が延期された。

9. 小学生向けオンラインコンテンツ「キヅキランド」の企画制作

従来の動画視聴に対する投稿やコメントとは異なる仕様を用いて、ウェブサイトならではの新しい視聴体験を提供し、科学とこどもたちの接点を広げるとともに、こどもたちの自ら学びたいと思う探求心を育む小学生向けオンラインコンテンツ「キヅキランド」を企画し、制作を開始した。

Ⅳ. その他の活動

1. 会議の開催状況

理事会、評議員会を下記の通り開催し、全ての議案が原案通りに承認可決された。

(1) 理事会

臨時理事会(決議の省略の方法による)

日 時 2020年4月17日

議 案・第36回京都賞の受賞者決定及び関連行事開催延期の件

- ・第2回こども科学博開催延期の件
- ・ 文化芸術活動への緊急支援の件

定時理事会(決議の省略の方法による)

日 時 2020年6月3日

議 案・2019年度事業報告及び決算報告の件

- ・大阪大学への寄附の件
- ・京セラ株式会社第66期定時株主総会議決権行使の件
- ・ 定時評議員会開催の件

報告事項 ・新型コロナウイルス感染症の影響について

・代表理事・業務執行理事の職務執行状況報告

定時理事会 (決議の省略の方法による)

日 時 2021年3月12日

議 案・京都賞顕彰規程改正の件

- ・第37回(2022)京都賞審査に係る委員選任の件
- ・稲盛科学研究機構(InaRIS)フェローシップ規程改正の件
- ・2021 年度 InaRIS フェロー並びに助成金額承認の件
- ・2021 年度 InaRIS 運営に係る委員選任の件
- ・2022 年度 InaRIS フェロー選考に係る委員選任の件
- ・稲盛研究助成規程改正の件
- ・2021 年度 稲盛研究助成対象者並びに助成金額承認の件
- ・2022 年度 稲盛研究助成選考に係る委員選任の件
- ・文化芸術支援プログラム追加支援の件(追認)
- ・2021 年度事業計画及び収支予算の件
- ・定時評議員会開催の件(2021年6月)

報告事項 ・代表理事・業務執行理事の職務執行状況報告

- ・特別顧問の退任及び就任報告
- ・主要日程の件

(2)評議員会

定時評議員会(決議の省略の方法による)

日 時 2020年6月19日

議 案・2019年度事業報告及び決算報告の件

・理事選任の件

報告事項 ・新型コロナウイルス感染症の影響について

代表理事・業務執行理事の職務執行状況報告

2. 委員会等の開催状況

(1) 京都賞顕彰事業の各委員会

開催日	名称	議題
2021. 2. 6	第 36 回(2021)京都賞委員会	各部門受賞者審査

(2) 研究助成事業の各委員会

開催日	名称	議題
2020. 8.28	2020 年度 InaRIS 運営委員会	運営に関する事項
2020. 10. 26	2020 年度アドバイザリー・ボード・ミーティング	InaRIS 研究報告
2020.12. 4	稲盛研究助成選考委員会 人文・社会科学系分科会	助成対象者選考
2020. 12. 5	稲盛研究助成選考委員会 自然科学系分科会	助成対象者選考
2020. 12. 12	第1回 2021 年度 InaRIS フェロー選考委員会	フェロー選考
2021. 1.14	2020 年度 InaRIS 運営委員会	運営に関する事項
2021. 2.14	第 2 回 2021 年度 InaRIS フェロー選考委員会	フェロー選考

3. 広報活動

(1) 記者発表の実施

実施日	内容	実施場所/配布
2020. 4.10	稲盛科学研究機構「InaRIS」の最初のフェローが決まりま	関係記者クラブ
	した!(資料配布)	
2020. 4.20	新型コロナウイルスの感染拡大に伴う第36回(2020)京都賞	関係記者クラブ
	の関連行事の開催延期について(資料配布)	

2020. 4.28	新型コロナウイルス影響下における文化芸術活動への支援に	関係記者クラブ
	ついて(資料配布)	
2020. 6. 1	新型コロナウイルス影響下における「稲盛財団文化芸術支援 関係記者クラブ	
	プログラム」の支援先決定(資料配布)	
2021. 3.12	2021 年度稲盛研究助成 50 名採択(資料配布)	関係記者クラブ
2021. 3.19	2021 年度稲盛科学研究機構(InaRIS)フェロー決定(資料	関係記者クラブ
	配布)	

(2) 刊行物の発行

発行月	内容	発行部数
2020. 7	稲盛財団 NEWS 101 号	2,000部

(3) 電子媒体による情報発信

以下の電子媒体によって、京都賞や稲盛財団の活動に関連する情報を発信した。

- ・稲盛財団ホームページ(日・英)
- ・京都賞紹介サイト(日・英)
- ・Facebook 「京都賞-Kyoto Prize」(日・英)

配信:計42回(日:26回/英:16回)

・Twitter 「Kyoto Prize」「Inamori News」(日・英)

・メールマガジン 「稲盛財団 Magazine」(日)

配信:計3回(2020年4月、7月、2021年3月)

「Inamori Foundation e-Newsletter」(英)

配信:計2回(2020年4月、7月)

「3S Magazine (3S 会員専用)」

配信:計3回(2020年12月、2021年3月 *3月に2回)

(4) 京都市京セラ美術館及び鹿児島大学稲盛記念館における京都賞展示コーナーの開設

京都市京セラ美術館「東広間」において、受賞者の考えや生き方にふれる京都賞展示コーナーを開設した。また、鹿児島大学稲盛記念館における京都賞展示コーナーの開設に協力した。

2020年度 稲盛研究助成対象者並びに研究題目

100万円/件

	対象者	研究題目
	東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科 講師 イケダ ケンジ 池田 賢司	シングルセル解析を用いた肥満に伴うベージュ脂肪細 胞誘導低下機構の解明
	大分大学 理工学部 准教授 イワシタ タクヤ 岩下 拓哉	水溶液物理学の構築: 粘度異常の分子論描象
	大阪府立大学 大学院生命環境科学研究科 講師 オガワ タクミ 小川 拓水	ユーグレナの単離ミトコンドリアを用いたワックスエ ステル発酵経路の精密解析
	群馬大学 大学院理工学府 助教 カクチ リョウヘイ 覚知 亮平	多成分連結反応による共役系高分子の多様性指向合成 と超高感度・高選択的金属センサーのライブラリー探索
	東京大学 大学院理学系研究科 准教授 カツラ ホウショウ 桂 法称	拘束条件のある多体電子系の量子もつれとダイナミク ス
	東京大学 大学院総合文化研究科 准教授 カトウ ヒデアキ 加藤 英明	GPCR-Gタンパク質複合体の形成過程における反応中間体の構造機能解析
自然科	京都大学 大学院工学研究科 助教 カネコ ミツアキ 金子 光顕	超高温環境動作SiC集積回路の開発
学系	理化学研究所 環境資源科学研究センター 研究員 キム ジュンシク Kim June-Sik	小胞体ストレス応答による植物の開花を促進する遺伝 子制御機構の解明
	金沢大学 医薬保健研究域 准教授 クライシ タカユキ 倉石 貴透	自己炎症によるがん発生メカニズムの解明
	立命館大学 生命科学部 准教授 コシヤマ トモミ 越山 友美	細胞膜内部表面における金属微粒子合成法の確立と特 性評価
	甲南大学 理工学部 准教授 ゴトウ アヤコ 後藤 彩子	女王アリにおける長期間の精子貯蔵メカニズム
	東京理科大学 生命医科学研究所 講師 コン シュンスケ 昆 俊亮	細胞競合を介したオートファジーの抗腫瘍機構の解明
	京都大学 大学院工学研究科 助教 ゴン マサユキ 権 正行	高効率近赤外発光を指向した縮環型共役系高分子錯体の創出
	茨城大学 理学部 助教 スズキ タクミ 鈴木 匠	神経細胞の多様性を生み出す分子機構の解明

	対象者	研究題目
	北海道大学 大学院理学研究院 特任助教 タカギ セイコ 高木 聖子	金星雲に働く物理・化学機構と大気ダイナミクスの理解
	立命館大学 生命科学部 助教 タケナカ ユウト 竹中 悠人	植物の発達を支えるバイオポリマー「ペクチン」の生合 成機構の解明
	電気通信大学 大学院情報理工学研究科 助教 タジリ タケヨシ 田尻 武義	埋め込み再成長法を用いた窒化物半導体三次元フォト ニック結晶の作製と応用に関する研究
	東京大学 大学院理学系研究科 准教授 ッチマツ タカシ 土松 隆志	野生ペチュニア集団における非自己認識型自家不和合性 システムの実態解明
	東京工業大学 物質理工学院 助教 ツバキ シュンタロウ 椿 俊太郎	高周波を用いた新バイオマスガス化法の開発
自自	東京農工大学 大学院工学研究院 准教授(テニュアトラック) ^{テラ マサユキ} 寺 正行	核酸構造制御に基づく遺伝子調節法の開発
自然科学系	筑波大学 国際統合睡眠医科学研究機構 助教 トダ ヒロフミ 戸田 浩史	睡眠誘引遺伝子'nemuri'の機能解析 ー睡眠と免疫の接点を探るー
	宇宙航空研究開発機構 宇宙科学研究所 助教 トベ ヒロブミ 戸部 裕史	高温で駆動可能なPd-Ti-Zr形状記憶合金の開発
	京都大学 附属図書館 助教 ニシオカ チフミ 西岡 千文	エビデンスに基づく図書館資料推薦システムの実現に向けた学習ログ分析手法の研究開発
	東京大学 大学院理学系研究科 助教 ニシグチ ダイキ 西口 大貴	細胞配向秩序の時空間制御と応答測定
	東京大学 大学院理学系研究科 助教 ニシザワ アツシ 西澤 篤志	重力理論検証のための重力波データ統計解析法の構築
	山口大学 大学院創成科学研究科 講師 ノザキ タカユキ 野崎 隆之	挿入/削除訂正符号の理論と構成
	岐阜大学 応用生物科学部 助教 ハシモト ミスズ 橋本 美涼	メチル化修飾分子の同定による中枢神経ミエリン形成メ カニズムの解明

	対象者	研究題目
	九州大学 病院 助教 ハタエ リュウスケ 波多江 龍亮	リンパ球及び代謝産物解析による転移性脳腫瘍患者の免 疫チェックポイント阻害剤に対する抵抗性の解明
	東北大学 加齢医学研究所 助教 ハヤシ ヨウヘイ 林 陽平	セリン代謝を介したマウスオス胎仔生殖細胞の分化制御 機構
	大阪工業大学 工学部 特任准教授 ヒライ トモヤス 平井 智康	表面開始リビングアニオン重合法に基づく立体規則性双 性イオンブラシの創製
	立命館大学 理工学部 准教授 フクヤマ トモコ 福山 智子	圧電効果を用いたコンクリート材料強度測定法の確立
	岡山大学 資源植物科学研究所 助教 フルタ トモユキ 古田 智敬	植物個体近傍の微小環境を測定するシステムの開発と実 証
	大阪府立大学 大学院工学研究科 助教マッチト タクヤ 松本 拓也	有機溶媒に耐性を有するPET分解酵素の開発
自然科学系	熊本大学 大学院先導機構 准教授 ミウラ キョウコ 三浦 恭子	最長寿齧歯類ハダカデバネズミにおける種特異的高発現 遺伝子の役割の解明
学系	島根大学 学術研究院 准教授 モウギ アキヒコ 舞木 昭彦	種内と種間の多様性に関する相互維持機構の理論的研究
	東京工業大学 理学院 准教授 ヤマザキ マサカズ 山﨑 優一	電子・振動励起状態にある分子の波動関数撮像法の開発
	徳島大学 ポスト LED フォトニクス研究所 特任准教授 ョシイ カズミチ 吉井 一倫	光ファンクションジェネレーターの開発と展開
	九州大学 大学院工学研究院 助教 ワカバヤシ リエ 若林 里衣	ペプチド性超分子の物理的因子と細胞作用
	同志社大学 生命医科学部 助教 ワク ツョシ 和久 剛	腫瘍増悪性転写因子NRF3によるアミノ酸取り込み競合を介した新規がん免疫抑制機構の解明
	中央大学 大学院理工学研究科 准教授 ワタナベ キワム 渡邉 究	ファノ多様体における等質多様体の特徴付け
		小計 40件

	対象者	研究題目
	青山学院大学 総合文化政策学部 助教 シャザディグリ シャウティ シャザディグリ シャウティ	外国人労働者の将来展望-在日外国人労働者に関する調 査研究-
	京都大学 大学院医学研究科 准教授 タケノウチ サヤカ 竹之内 沙弥香	最期まで自分らしく生きるための話し合い:市民へのアドバンス・ケア・プランニング支援ツールの開発と評価
	筑波大学 体育系 助教 デン ショウチ 田 暁潔	社会化における教育の役割についての再考-牧畜民マサイの子どもと大人の共同牧畜の民族誌から-
	鳥取大学 地域学部 講師 フクヤマ ヒロシ 福山 寛志	音楽性の起源を求めて:親子間および乳児同士にみる音楽的やり取りに関する発達心理学的検討
人文	宇都宮大学 大学院地域創生科学研究科 助教 フジイ ヒロシゲ 藤井 広重	アフリカにおける国際的な司法介入後の「レガシー」を めぐる実証研究:ICC被害者信託基金の活動を中心に
・社会科学系	静岡文化芸術大学 文化政策学部 教授 フジイ ヤスユキ 藤井 康幸	人口減少下において増加する空き家・空き地への対処方 策、その中核機関としてのランドバンクのあり方の研究
子系	横浜市立大学 大学院都市社会文化研究科 教授 マツモト イクヨ 松本 郁代	日本中世における家職の定着と各家の神仏起源語りに関する学際的研究
	上智大学 経済学部 准教授 ミン ジョンウォン 閔 廷媛	組織はヒューマンエラーからどう学習できるか:世界原子力発電所のデータを用いた実証分析
	北海道大学 大学院法学研究科 准教授 モリ ユウイチロウ 森 悠一郎	個人としての尊重を中心とした差別の規範理論の法哲学 的検討
	早稲田大学 商学部 教授 ヤマウチ アキ 山内 暁	無形資産としての特許権の会計処理方法とその開示に係る検討
		小計 10件
		合計 50件

※所属・役職は申請時現在

2021年度 稲盛研究助成対象者並びに研究題目

100万円/件

	対象者	研究題目
	アタラシ コウジ 新 幸二 慶應義塾大学 医学部 准教授	腸内細菌操作による健康長寿社会への貢献
	イトウ アヤカ 伊藤 綾香 名古屋大学 環境医学研究所 助教	免疫細胞内脂質に着目した全身エリテマトーデスの病 態解明
	イトウ ミナコ 伊藤 美菜子 九州大学 生体防御医学研究所 准教授	脳梗塞慢性期における血液由来因子による炎症制御機 構の解明と治療応用
	イマムラ テルヒコ 今村 輝彦 富山大学 附属病院 講師	収縮機能低下心不全に対する超音波ドップラー検査を 用いた心拍数の最適化の臨床的な意義の検証
	イワサキ ユウサク 岩崎 有作 京都府立大学 大学院生命環境科学研究科 教授	腸ホルモンGLP-1のインスリン感受性亢進作用における自律神経と中枢神経の関与
	ウチダ マサキ 打田 正輝 東京工業大学 理学院 准教授	高いスピン密度を実現する新規磁性半導体材料の創出
自然	ェンドウ ミズキ 遠藤 瑞己 東京大学 大学院理学系研究科 助教	生体深部で細胞間シグナル伝達を制御する熱遺伝学的 システムの開発
自然科学系	オイサキ コウノスケ 生長 幸之助 東京大学 大学院薬学系研究科 講師	主鎖無保護アミノ酸を用いる連続的ペプチド伸長法
	オオツカ トモヒロ 大塚 朋廣 東北大学 電気通信研究所 准教授	半導体量子デバイスの高精度高周波測定技術の研究
	オカモト トモコ 岡本 朋子 岐阜大学 応用生物科学部 助教	雌雄異株の進化は花の匂いの多様化を引き起こした か?
	カミヤ ユキコ 神谷 由紀子 名古屋大学 大学院工学研究科 准教授	非環状型人工核酸が形成するユニークな三重鎖構造に 基づくRNA機能制御法の開発
	クメ カズノリ 久米 一規 広島大学 大学院統合生命科学研究科 准教授	核と小胞体の間の膜輸送に方向性を生むメカニズムの 解明
	コウノ ミチヒト 河野 通仁 北海道大学 大学院医学研究院 助教	T細胞サブセットのバランスに注目した細胞内代謝を 標的とした全身性エリテマトーデスの新規治療開発
	コクショウ タクマ 國生 拓摩 名古屋大学 大学院理学研究科 助教	生命誕生の理解へ向けた超新星爆発によるリン生成メ カニズムの観測的研究

	対象者	研究題目
	コバヤシ マコト 小林 真 北海道大学 北方生物圏フィールド科学センター 准教授	冬の気候変動とシカの増加が北方林における倒木更新 のメリットを消失させる
	コバヤシ ユウスケ 小林 優介 茨城大学 大学院理工学研究科 助教	母性遺伝の分子メカニズムに迫る
	コンドウ クニオ 近藤 邦生 自然科学研究機構 生理学研究所 助教	エネルギー代謝を担う中枢神経系と末梢組織をつなぐ 神経回路の解明
	サイトウ クニヤス 齊藤 国靖 京都産業大学 理学部 准教授	多分散粒子系の階層構造に起因する特異な粘弾性と弾 塑性および新しい数理物理学の展開
	サイトウ マサヒコ 斎藤 慎彦 広島大学 大学院先進理工系科学研究科 助教	高効率有機薄膜太陽電池を指向した新規高結晶性n型材 料の開発
自	サコ カオリ 佐古 香織 近畿大学 農学部 助教	高等植物における昆虫ホルモン受容体の探索
自然科学系	サワダ トシキ 澤田 敏樹 東京工業大学 物質理工学院 助教	繊維状ウイルスからなる液晶性分離膜の構築と高感度 バイオマーカー検出への展開
	スエキ シュンスケ 末木 俊輔 武蔵野大学 薬学部 助教	ヘテロ2核金属錯体触媒による新規シアノ化反応の開発
	タカオカ カツヨシ 高岡 勝吉 徳島大学 先端酵素学研究所 准教授	マウス胚における発生休止メカニズム
	タキモト ダイスケ 滝本 大裕 琉球大学 理学部 助教	単原子層白金ナノシートの創製と基礎物性の理解
	タナカ タカシ 田中 貴 岐阜大学 応用生物科学部 助教	深層学習と空間統計モデルによる畑作物の苗立ち不安 定性評価手法の開発
	ノモト ヒロシ 野本 博司 北海道大学 北海道大学病院 助教	細胞内エネルギー代謝の観点から探るヒト頸動脈プ ラーク内マクロファージの極性変化の役割
	フナミズ アキヒロ 船水 章大 東京大学 定量生命科学研究所 講師	経験に基づく行動最適化の神経基盤

	対象者	研究題目
	ホンダ ユウキ 本田 裕樹 奈良女子大学 研究院自然科学系 助教	非生物的な光増感反応と酵素反応を組み合わせた光エ ネルギー駆動型の水素生産系
	マエダ チヒロ 前田 千尋 岡山大学 大学院自然科学研究科 助教	アザヘリセンを基盤とした円偏光発光材料の開発
	マサイ ヒロシ 正井 宏 東京大学 大学院総合文化研究科 助教	円偏光によって誘起される不斉クロスカップリング反 応技術の創成
	マスダ タカヒロ 増田 隆博 九州大学 大学院薬学研究院 助教	脳境界マクロファージの包括的解析から見る正常脳形 成と中枢性疾患発症
	マツォ カズヤ 松尾 和哉 北海道大学 電子科学研究所 助教	光細胞工学法の開拓
	ママダ マサシ 儘田 正史 九州大学 大学院工学研究院 助教	未踏有機レーザー色素骨格の網羅的探索と有機半導体 レーザーの高性能化
自然科学系	ミウラ サトシ 三浦 智 東京工業大学 工学院 講師	人の身体性を考慮したインタフェースの制御手法の構 築
学系	ミナト ナミ 湊 菜未 新潟大学 自然科学系 助教	昆虫によって媒介される越境性ウイルス病害の防御応 答に関する統合的理解
	モリモト マサヒロ 森本 勝大 富山大学 学術研究部工学系 助教	金属/有機半導体界面における分極制御と電荷移動メカニズムの解明
	モロイシ トシロウ 諸石 寿朗 熊本大学 大学院生命科学研究部 教授	鉄による細胞分化制御機構の解明
	ヤマグチ シンタロウ 山口 慎太郎 慶應義塾大学 医学部 助教	血管・腸管NAD+合成系を標的とした内因性インクレチン分泌促進法の開発
	ヤマムロ カズヒコ 山室 和彦 奈良県立医科大学 医学部 助教	前頭葉—視床室傍核回路が形作る恐怖記憶の神経基盤 の同定
	ワタナベ ケンイチ 渡邉 謙一 帯広畜産大学 グローバルアグロメディシン研究センター 助教	牛の新規神経変性疾患である褐毛和種牛封入体病の原 因遺伝子の同定
		小計 40件

	対象者	研究題目
人文・社会科学系	イイヅカ アキコ 飯塚 明子 宇都宮大学 留学生・国際交流センター 助教	持続可能な復興を導く災害ボランティアに関する国際 比較
	イデ カズキ 井出 和希 京都大学 iPS細胞研究所 特定助教	学術誌の倫理性・公正性の探索:大規模データベースを 活用した分析
	カネハラ アキコ 金原 明子 東京大学 医学部附属病院 特任助教	ピアサポートワーカーの育成・普及に関するガイドラインの作成
	コジマ マサエ 小嶋 理江 名古屋大学 未来社会創造機構 特任助教	自らの運転行動を他車視点で経験することによる教育 効果—適切なメタ認知の向上を目指して—
	サキタ ヨシヒロ 崎田 嘉寛 北海道大学 大学院教育学研究院 准教授	映像資料を用いた走・跳動作の分析からみる日本スポー ツ史の再考
	タカハシ ケイタ 高橋 啓太 花園大学 文学部 准教授	引揚げ者の文学における満洲表象の研究: 五味川純平を 中心に
	タカヤナギ セイヤ 高柳 誠也 東京理科大学 理工学部 助教	水害多発地域における人口動態および土地利用変化に 関する研究
	ヒラミ ケンタ 平見 健太 早稲田大学 社会科学総合学術院 講師	経済の安全保障化と国際経済法の動揺—国家と市場の 関係を再考する—
	フジモト アカリ 藤本 灯 京都府立大学 文学部 講師	日本初の国語辞書『色葉字類抄』に採録された漢籍出典 語彙の院政期における使用状況
	モトオカ タクヤ 本岡 拓哉 同志社大学 人文科学研究所 助教	都市開発と立ち退き問題の諸相―戦後京都を対象に―
		小計 10件
		合計 50件

※所属・役職は2021年3月12日現在

2021 年度 稲盛科学研究機構(InaRIS)フェロー

1000万円/年(10年間)

採択 年度	対象領域	InaRIS フェロー	研究テーマ
2020	量子	京都大学 基礎物理学研究所 教授 高柳 匡	量子エンタングルメントから創発する量子 重力理論
2020	量子	東京大学 大学院総合文化研究科 准教授 野口 篤史	誤り耐性量子計算のための超高精度量子 制御
2021	生命	東京大学 先端科学技術研究センター 教授 西増 弘志	新規 RNA 依存性酵素の探求
2021	生命	北海道大学 低温科学研究所 教授 山口 良文	哺乳類の冬眠能を構成する因子同定とその 機能検証

以上4名

※所属・役職は2021年3月1日現在

稲盛財団文化芸術支援プログラム 支援先一覧

支援額 1,000万円(10件)

団体名	分野名
株式会社こまつ座	演劇
四季株式会社	演劇
有限会社オフィス新音	演劇
有限会社シス・カンパニー	演劇
公益社団法人大阪交響楽団	音楽
公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団	音楽
有限会社voque ting	音楽
公益財団法人日本舞台芸術振興会	舞踊
公益社団法人上方落語協会	演芸
有限会社エレメンツ	複合

支援額 500万円(36件)

団体名	分野名
株式会社OSK日本歌劇団	演劇
株式会社わらび座	演劇
劇団うりんこ	演劇
劇団NLT	演劇
劇団昴一般社団法人	演劇
トム・プロジェクト株式会社	演劇
有限会社アゴラ企画	演劇
有限会社一九二八	演劇
有限会社劇団かかし座	演劇
有限会社劇団東演	演劇
有限会社ゴーチ・ブラザーズ	演劇
一般社団法人東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団	音楽
株式会社KAJIMOTO	音楽
株式会社魂源堂	音楽
企業組合東京混声合唱団	音楽
公益社団法人大阪フィルハーモニー協会	音楽
公益財団法人群馬交響楽団	音楽
公益財団法人東京交響楽団	音楽
公益財団法人東京フィルハーモニー交響楽団	音楽
公益財団法人札幌交響楽団	音楽
公益財団法人新日本フィルハーモニー交響楽団	音楽
公益財団法人名古屋フィルハーモニー交響楽団	音楽
公益財団法人日本センチュリー交響楽団	音楽
公益財団法人日本オペラ振興会	音楽
公益社団法人山形交響楽協会	音楽
有限会社バッハ・コレギウム・ジャパン	音楽

公益財団法人スターダンサーズ・バレエ団	舞踊
公益財団法人松山バレエ団	舞踊
一般社団法人夜桜能	伝統芸能
公益財団法人文楽協会	伝統芸能
有限会社古典空間	伝統芸能
株式会社アートクリエイション	スタッフ
株式会社インプレッション	スタッフ
株式会社エム・エス・ユー	スタッフ
株式会社 北前船/太鼓芸能集団 鼓童	複合
有限会社舞台照明劇光社	複合

支援額 250万円(28件)

団体名	分野名
一般社団法人劇団自由人会	演劇
株式会社アートシーン	演劇
株式会社劇団ひまわり	演劇
株式会社東京演劇音響研究所	演劇
株式会社東京演劇集団風	演劇
株式会社人形劇団むすび座	演劇
株式会社フォース	演劇
企業組合劇団風の子九州	演劇
公益社団法人教育演劇研究協会	演劇
公益財団法人すぎのこ芸術文化振興会	演劇
有限会社劇団風の子	演劇
有限会社劇団プーク	演劇
有限会社人形劇団クラルテ	演劇
有限会社オペラシアターこんにゃく座	音楽
株式会社薫風	伝統芸能
株式会社萬狂言	伝統芸能
公益財団法人淡路人形協会	伝統芸能
公益財団法人大槻能楽堂	伝統芸能
公益財団法人片山家能楽·京舞保存財団	伝統芸能
公益社団法人観世九皐会	伝統芸能
公益財団法人金剛能楽堂財団	伝統芸能
公益社団法人宝生会	伝統芸能
公益財団法人山本能楽堂	伝統芸能
株式会社アール・ケー・ビー	スタッフ
株式会社三響社	スタッフ
株式会社スタッフユニオン	スタッフ
株式会社ステージオフィス	スタッフ
株式会社流	スタッフ